

‘09-4-3

平成21年4月度第1回街づくり委員会議事録

日時：‘09-4-3（金）19：30～21：30

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席者：雨宮、奥村、寺井、森、原田、杉本、川上、上原、橋本、中井、竹吉、戸所、乾
森川（滋賀県立大・准教授）、竹内議員、欠席）西本、志賀
特別参加）暮らしの足を考える会：川島、藤岡

議事内容：

今回から森川先生を会の新メンバーに迎え、21年度新パワーアップ・夢実現事業への申請に向けて、事務局案を基に議論を行った。その結果、以下のポイントで加筆修正を加えて書類作成し、雨宮会長から提出（4月8日期限）して貰うこととした。

（注）事業の主旨は20年度の事業成果と課題を整理し、21年度はその課題の解決を図るとのストーリーとした。また表現を端的明瞭にした。議事録作成者の意見も多く入っているのので了承願いたい。

1. 事業の主旨（目的）文章（50～60字）の修正

平成20年度は試験走行を成功裏に終えた。21年度は顕在化した諸課題の整理と「ぐるっと平野号」実現のための具体的な体制構築を図る。

2. 事業の主旨説明文の修正

本プロジェクトは平野学区の地形的特性、高齢化する人口構成、低迷する街の活性化などに住民の力で対応して行こうと立ち上げたものである。

平成20年度は「自主運営によるコミュニティバス導入プロジェクト」事業を展開し補助金を得て、コミュニティバス試験走行を成功裏に終えた。しかし、実走行への展開を図るには、①事業の運営主体のあり方、②運営組織のあり方、③バス運行の体制のあり方、④採算性など諸課題への取組みが必要であることが判明した。このため、21年度は以下の施策を実行しこれら諸課題を解決して行くことに取り組む。

① 有識者、コンサルタントの招聘と理論構築

運営主体の差による事業展開の難易度研究、組織運営の取組み方、バス運行者による事業展開の難易度研究、採算性シミュレーション等を行う。

② 市民活動組織や活動家との交流

淡海ネットワークセンターを始め組織や活動家との交流を深め、継続性のある事業の姿と展開のあり方を研究する。

③ 実践例の視察研修

20年度は山科区「醍醐コミュニティバス」、五島市「福江商店街巡回バス」、四日市市「生活バス四日市」などを視察し多くの示唆を得た。21年度も各地の成功実践例の視察研修を行い、「生活バス・ぐるっと平野号」の事業化に向

けた研究を行う。

④ 地域住民との合意形成

自主運営による事業展開を行う限り、住民の負担・協力は不可欠である。従って、住民との合意形成は重要なプロセスとなる。「平野に何故生活バスが必要か」から始め、実現した姿を想定した対話を重ね、「自分達のバス」であるとの合意形成を図って行く。このために地域自治会とのワークショップ、シンポジウムなどを実施する。

3. 期待される具体的な効果・成果の修正

自主運営による「生活バス・ぐるっと平野号」の具体的な姿・形が構築され、継続性ある実走行への準備が整う。

4. 事業の詳細内容説明文の修正

① 有識者・コンサルタントの招聘と理論構築

運営主体のあり方：任意団体で進めるか、NPO 組織で進めるかなどの研究
 組織運営のあり方：メンバー構成と役割分担の研究
 バス運行のあり方：バス事業者への委託運行か自主運行かの研究
 採算性：赤字を出さない収支バランスの研究

② 市民活動組織や活動家との交流

淡海ネットワークセンター、福井市の特定非営利活動法人「ROBA」、NPO 法人「生活バス四日市」などの組織や有識者との交流を深め支援を受ける

③ 実践例の視察研修

21 年度の視察研修候補は以下の通り。

福井市：ROBA（ふくい路面電車とまちづくりの会）

神戸市：「住吉台くるくるバス」

静岡県旧佐久間町：「自前タクシー会社」

松阪市：「黒部・東地区コミュニティバス」

彦根市：「予約乗合タクシー」

西浅井町：「おでかけワゴン」

④ 地域住民との合意形成

ワークショップの開催：委員会メンバーと地域住民との直接対話を通し、要望、意見を吸い上げ住民のバスとの認識を強化する。

シンポジウムの開催：各地の実践地域の代表者等を講師とし招き、住民の意識の共有を図る。

5. 月次計画の修正

5 月：有識者、コンサルをまじえて運営主体のあり方など各種課題の勉強会

6 月：同上

7 月：同上、地域住民とのワークショップ開催、シンポジウム開催準備

- 8 月：地域住民とのワークショップ開催、シンポジウム開催
 - 9 月：地域住民とのワークショップ開催、実践例視察研修
 - 10 月：地域住民とのワークショップ開催、実践例視察研修
 - 11 月：「生活バス・ぐるっと平野号」の実運行計画の作成準備
 - 12 月：同上
 - 1 月：同上
 - 2 月：同上
 - 3 月：「生活バス・ぐるっと平野号」の実運行計画の作成完了
6. その他
- ①審査会で参考資料として使用する予定の平野学区の年齢別人口分布図（2008、2018）はデータの的に問題があり、修正が必要。
 - ②21年度の申請書には「コミュニティバス」の表現は私用しない。
 - ③構成員名簿は当面16名（森川先生含む）とするが20～30人を想定しておく。
7. 4月度委員会開催日時
- 第2回委員会（臨時）：4月9日（木）19：30 審査会プレゼンテーションリハーサル
 - 第3回委員会（定例）：4月23日（木）19：30

以上